



**北海道大学，国立総合大学で初めて全学の教育，研究環境に
Adobe Creative Cloud エンタープライズ版を採用**

国際水準の教育・研究の取り組みの一環として，オープンエデュケーションにも活用

北海道大学（総長 山口佳三，以下 北海道大学）は，大学改革の柱であるグローバル化を支える国際水準の教育・研究を実現するソリューションの一環として，アドビ システムズ 株式会社（本社：東京都品川区，代表取締役社長：佐分利 ユージン 以下 アドビ）製の Adobe Creative Cloud エンタープライズ版を採用したと発表しました。これは，日本における国立総合大学において初めての高等教育機関向け包括ライセンス契約※¹による全学での採用となります。

このたび，北海道大学がアドビの Creative Cloud エンタープライズ版の採用を決めた理由としては以下が挙げられます。

- 世界水準の教育・研究を支えるためのグローバル共通の最新ツールが活用できること。
- 大学改革の重要な取り組みである，今年度開設したオープンエデュケーションセンター※²において，教員自身によるデジタルコンテンツ作りに活用できることより，オープンエデュケーションの取り組みを加速できること。
- 全教職員および大学管理下の全 PC での活用が可能であること。
- コンプライアンスの課題にも対応した管理運営が可能であること。
- 全学を包括した契約による管理運営のコストメリットがあること。

今後，北海道大学とアドビが連携して，教職員におけるアドビツールの活用支援を通じ，同大学における新しい教育を実践していきます。

今回の Creative Cloud エンタープライズ版の導入において，北海道大学情報化統括責任者補佐役（情報基盤センター長・教授）高井 昌彰は，「このたび，北海道大学は他の国立総合大学に先だち，Creative Cloud の全学導入を実施いたしました。教育・研究において最新のグローバル基準のツールを提供できるとともに，これまで課題でありました個別調達及び管理の面におきましても，全学で取りまとめることにより，よりスムーズな管理運営，全学的なコストメリットに寄与することができました。今後は，実際の活用を通じて，世界水準の教育・研究が推進されることを期待しています。」と述べています。

北海道大学高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター長（教授）小林 幸徳は，「本学は，現在の世界の大きな教育改革の流れである MOOC（Massive Open Online Course）や OER（Open Educational Resource）に取り組むミッションを持っています。今春新設したオープンエデュケー

ションセンターでは、アドビの各種ツールを広く活用することで、良質で魅力的なデジタル教材を潤沢に開発し、MOOC や OER を活用した大学教育の改善が加速されることを期待しています。」と述べています。

[用語解説]

※1 高等教育機関向け包括ライセンス契約（ETLA 契約）

高等教育機関向け包括ライセンス契約（ETLA）は、カスタマイズできる期間契約のライセンスプログラムです。教職員や学生の皆様に、様々なアドビアプリケーションおよびサービスをご利用いただくことができます。

※2 北海道大学 高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター

北海道大学 高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンターは、ICT を活用した教育の推進によって大学の教育改善を支援する全学組織であり、OER を活用した教育・学習支援や、OER に関する研究開発を目的として本年4月に設置されました。

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学情報環境推進本部情報推進課 課長補佐 根本恒秀

TEL：011-706-2131 FAX：011-706-2936 E-mail：hosa1@oicte.hokudai.ac.jp